

新潟大学特任助教（食品科学分野、または調理科学分野）公募要項

新潟大学は、内閣府「地方大学・地域産業創生交付金事業」に採択された「にいがた2km『おいしさDX』産学官共創プロジェクト」に、中核機関として参画します。本プロジェクトでは、食科学と情報科学を中心とした食に関する様々な領域の研究者と一致協力することで食の総合知を結集し、国内有数の食品産業の集積地である新潟市の産業コミュニティとの協働により、地域産業の更なる飛躍を目指します。本事業の中核メンバーとしてプロジェクトに携わる研究者を募集します。詳細は以下の通りです。

1. 所 属 新潟大学研究力強化推進本部（令和7年7月1日設置予定）
※着任後は、農学部、工学部、教育学部、大学院自然科学研究科等の関連部局の研究者、
ならびに新潟市の産業コミュニティと連携し、本プロジェクトを推進する。
※全学組織「社会共創フード&ヘルスイノベーションセンター（仮称）」の設置後は
当該組織に配置換予定。
2. 担当分野 食品科学分野や調理科学分野等の食品関連分野
3. 職種・人員 特任助教または特任助手 3名
4. 着任期日 令和7年9月1日以降のできるだけ早い時期
5. 給 与 年俸制（国立大学法人新潟大学特任教員等及び短時間勤務特任教員等給与規程に基づき支給）
6. 職務内容・条件
 - (1) 本プロジェクトの推進に係る業務
 - ①研究開発に関すること
 - ②教育に関すること
 - ③産学官の協働に関すること
 - ④成果の情報発信に関すること
 - ⑤その他、本プロジェクトの推進に関すること
 - (2) 本プロジェクトの趣旨・目的を理解し、協調性をもって意欲的に職務に取り組むこと※ 上記に影響を及ぼさない範囲での自発的な研究活動（競争的研究費を獲得して実施する研究活動を含む。）を行うことができる。
7. 任 期 令和8年3月31日まで
・単年度契約の特定有期雇用職員
・業務実績を評価の上、令和12年3月31日までの範囲で更新することがある
（ただし、本学に雇用されていた期間がある方は、その期間と通算して5年を超えない範囲）。
8. 勤務形態 基本的に専門業務型裁量労働制（みなし労働時間1日7時間45分）
専門業務型裁量労働制を適用しない場合は、1週間の勤務時間38時間45分、1日の勤務時間8時30分～17時15分（休憩時間12時00分～13時00分）の固定労働時間制

裁量労働制とするか固定労働時間制とするかは、採用時に希望を伺います。

休日：土・日曜日、祝日、年末年始の休日等

9. 応募資格

- (1) 博士を有することが望ましい（在職中に学位取得見込みの者を含む）
- (2) 食品科学分野や調理科学分野等の食品関連分野において、以下の①～②に強い興味を有すること。
 - ①主に「香り」「呈味」を中心とする食品等の分析・評価・解析
 - ②「調理加工」の過程やその影響を中心とする食品等の分析・評価・解析
- (3) 本プロジェクトの担当研究者をはじめ、関連分野の研究者と協力し、食品、飲料、調味料等のペアリング効果の分析・評価・解析に強い興味を有すること。
- (4) 応募資格(2)に関する研究業績を有することが望ましい。
- (5) 勤務地（新潟大学五十嵐キャンパス）に通勤が可能であること（採用後に可能となる場合も含む）。

10. 応募書類（各1部）

- (1) 履歴書：様式自由。氏名、現住所、電話番号、メールアドレス、大学入学以降の学歴、職歴、学位、学会・社会活動、資格、賞罰を記入のうえ写真を添付し署名すること。

※履歴書の「賞罰」の欄には、受賞、刑事罰のみでなく、学生に対するセクハラ・性暴力等を原因とする過去の懲戒処分歴や、その原因となった具体的な事由について記入のこと。「賞罰」の欄が無い場合は、備考等に賞罰の有無とその事由を記載のこと。万が一、経歴に虚偽の申告があった場合は、採用取消や懲戒処分となる場合があります。
 - (2) 研究業績書：著書、学位論文、査読付き学術論文、その他学術論文、国際会議発表、国内学会発表などに区分し、著者名、論文名、雑誌名、巻号、最初と最後の頁、発表年（西暦）の順に記載のこと。
 - (3) 代表的な査読付きの原著論文の別刷あるいはコピー。（3編以内）
 - (4) 科研費を含む外部資金獲得状況（研究課題名、代表・分担の別、金額（分担の場合は分担額）および研究期間）ならびに特許等の取得状況（出願中を含む）を記載したリスト。
 - (5) これまでの教育研究概要についてA4用紙2枚以内にまとめたもの。
 - (6) 応募資格(2) ①～②のうちの希望する業務（複数可）に関連付けて、採用された場合の抱負についてA4用紙2枚以内にまとめたもの。
 - (7) 応募者について照会可能な方2名の連絡先（氏名、所属、役職、電話、電子メールアドレス）。
- （注）応募書類は返却しません。応募に関する秘密は厳守します。また、本公募手続きにより本学が取得した応募者の個人情報、
「個人情報の保護に関する法律」に基づき適正に管理します。

11. 応募の締切 令和7年6月30日（月）17:00 必着

12. 選考方法 応募書類による選考の後、面接による最終選考を行います。（旅費は支給しません）

13. 提出書類の送付先および問合せ先

- (1) 研究分野に関する問合せ先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学農学部食品科学プログラム

教授 西海 理之

電話 025-262-6663

E-mail: kenkyo (at) adm.niigata-u.ac.jp ※(at)を@に変換して下さい。

(2) 送付先および公募内容に関する問合せ先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地

新潟大学研究企画推進部社会連携課

電話 025-262-6280

E-mail: kenkyo (at) adm.niigata-u.ac.jp ※(at)を@に変換して下さい。

(封筒の表に「教員応募書類（食品科学分野）在中」と朱書きし、簡易書留で送付のこと。)

※ にいがた2km「おいしさDX」産学官共創プロジェクトの事業者向けの説明会について

本事業に関する事業者向けの説明会を、以下のとおり開催する予定です。

本公募に応募を検討中の方も参加いただけますので、プロジェクトの理解を深める機会としてご活用ください。

事前申し込み制となっていますので、参加希望の方は、上記問合せ先(2)までご連絡ください。

日時： 2025年5月29日（木）14時～

会場： 新潟市産業振興センター

(住所：新潟県新潟市中央区鐘木185-10)

なお、説明会の参加有無は本公募の選考には一切関係ありません。

※ 新潟大学社会連携推進機構及び関連部局の活動内容については、以下を参照のこと。

社会連携推進機構 <https://www.ircp.niigata-u.ac.jp>

農学部 <https://www.agr.niigata-u.ac.jp/>

工学部 <https://www.eng.niigata-u.ac.jp>

大学院自然科学研究科 <http://www.gs.niigata-u.ac.jp>

※ 新潟大学では、ダイバーシティ推進センター (<https://diversity.nu.niigata-u.ac.jp/>) を設置して、男女共同参画を推進しており、業績（研究、教育、社会貢献ほか）が同等であれば、女性を優先的に採用します。

※ 新潟大学では、キャンパス・グローバリゼーションの実現に向けて、グローバル対応力の高い教員の採用を推進しており、多様な言語を母語とする学生、研究者との日本語、英語を使ったコミュニケーション能力のある方の応募を歓迎します。